

生徒会歓迎会



四月十五日に、生徒会主催の新入生歓迎会が開催されました。時間のなかで、執行部の生徒たちが考えた歓迎のセレモニー（生徒会紹介・部活動紹介）と新入生の誓いの言葉で楽しい時間となりました。生徒会活動を通して

社会の役に立つ事を進んで考えて行動できる力をつけて欲しいです。また、運動部活動を通して自他の健康に留意しながら自分の心をしっかりと耕して欲しいと思います。中学生の無限の可能性に期待いたします。



入学式での勇飛さんの歓迎のことば



四月十五日に、生徒会主催の新入生歓迎会が開催されました。時間のなかで、執行部の生徒たちが考えた歓迎のセレモニー（生徒会紹介・部活動紹介）と新入生の誓いの言葉で楽しい時間となりました。生徒会活動を通して

令和2年度スタート!

新体制で新しい須木中に!



令和二年四月八日に、新しく五名の仲間を迎える事ができました。新型コロナウイルスの影響で心配された入学式でしたが、

四月七日は、新任式と始業式を開催いたしました。臨時休業から久しぶりに登校した生徒たちと新しく転入した四名の先生方との初対面です。私も校長として子どもたちにも歓迎をしていただき

新任式に続いて、始業式を行いました。令和2年度の新学期を迎え、まず、生徒を代表して3名（久留瀬さん、今重笑世さん、片地和奏さん）が、新年度の抱負を発表しました。学習面や生活面、部活動等で取り組んでいきたいことなど、新年度を迎えて考えていることを分

かりやすく堂々と発表しました。自分の考えを自分の言葉で大勢に伝えることはたいへん難易度が高いと思いますが代表の3名はしっかりと表現できていました。新型コロナウイルスの影響で、学校に登校できなかった分を取り戻すためにも新しい挑戦をして欲しいと願います。また、他の生徒たちも真剣に3名の話をお聞きして



須木中通信



新任式・始業式

第七十四回入学式

新任式に続いて、始業式を行いました。令和2年度の新学期を迎え、まず、生徒を代表して3名（久留瀬さん、今重笑世さん、片地和奏さん）が、新年度の抱負を発表しました。学習面や生活面、部活動等で取り組んでいきたいことなど、新年度を迎えて考えていることを分

日本にも素敵な中学生!

新型コロナウイルスへの感染予防でマスクが不足するなか、甲府市内の中学生が3月17日、手作りのマスク612枚を山梨県に寄贈するというニュースを耳にしました。

山梨大教育学部附属中1年の滝本妃(ひめ)さん(13)で、大人用400枚と子ども用212枚を手作りしたという事です。

滝本さんがマスク作りを思いついたのは2月半ば。母親と薬局に行った際、リュックを背負った高齢の女性が、マスクを買えずに途方に暮れている姿を目の当たりにした事がきっかけだそうです。

店員と女性の会話から、マスクを求めて何軒も歩き回ったようだった。「かわいそう。私にも何かできないか」と思い立ち、学校の試験が終わった2月末から作り始めたとの事。

材料は布、ガーゼ、ゴムひもで、「小さい頃から貯めていたお年玉貯金を使って買いそろえた」。無料で手に入れた型紙をもとに作ると、立体感がなく、顔に密着しない。市販のマスクから母親が型紙をとると、しっかりフィットした。曲線や、ゴムひもを通す部分を縫うのが難しかったという。臨時休業でできた時間を

使い、1日30枚を超えるペースで作り続けた。「裁縫は苦手。今回は皆さんの役に立ちたくて頑張った。一人でも多くの方に使ってもらえたらうれしい」と話し、今も作り続けているという事です。山梨県知事は、「マスクをいただいた人だけでなく、多くの皆さんが勇気づけられる」と感謝の言葉を伝えた。という話です。

5月の主な行事予定

- 1日(金) 臨時休業
- 3日(日) 憲法記念日
- 4日(月) みどりの日
- 5日(火) こどもの日
- 6日(水) 振替休日
- 7日(木) 学校再開日
- 18日(月) 教育相談、NRT
- 19日(火) NRT、全校集会
- 20日(水) 検尿
- 25日(月) 眼科検診
- 26日(火) 身体計測
- (2・3年生) 県英テスト

※新型コロナウイルスの影響で、行事が変更になる事もあります。



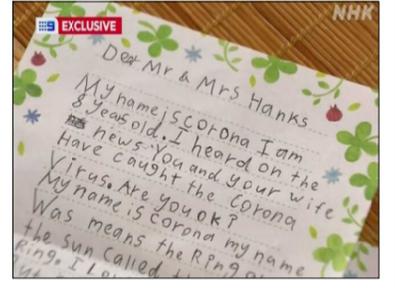
トム・ハンクス夫妻

海外のニュースから

ハリウッドの映画スターで映画監督でもあるトム・ハンクスさんをご存じだと思います。オーストラリアで映画ロケの準備中に新型コロナウイルスの陽性が判明し、病院に入院。そして映画撮影は中止になりました。そのことを知ったオーストラリアのゴールドコーストに住む8歳の男の子のコロナ・デブリースくんが、トム・ハンクスさんの体調を気遣う手紙を送ったという話です。デブリースくんは、この頃、周りの子どもたちから名前のコロナを「コロナウイルス」と呼ばれるはじめの被害に遭っ

るとハンクスさんから返信とタイプライターでの贈り物が届いたそうです。その返信の手紙には「君の手紙は私と妻をとてもらってほしい気分にしてくれた。君は私を知る人のなかで太陽の周りの光の輪のような『コロナ』という名前を持った1人の人だ」と書かれていたそうです。また、タイプライターは、愛好者だというハンクスさんが入院中に持参していたスミス・コロナ社のものだったという事です。『デブリースくんはアニメ映画の『トイストーリー』を見て主人公のキャラクターの声を演じたハンクスさんのファンになったと

いう事ですが、ハンクスさんはその主題歌の「君はともだち」というフレーズを追伸に記して、デブリースくんはテレビのインタビューに「ハンクスさんが僕を友だちと言ってくれた。すぐに返事を書くつもりだ」と答え、いじめの被害にあっていた「コロナ」という名前の少年に、新型コロナウイルスに感染して回復した俳優のトム・ハンクスさんから思わぬ贈り物が届いたというエピソード。この海外の素敵な話を知ってどう感じますか? 8歳の少年が、ファンであるハンクスさんへ気遣い、心配でたまらない気持ちを手紙に書くこと



この少年は、一歩踏み出すという行動に出たところにある大きな価値があると思います。また、大スターのトム・ハンクスさんも、この少年の勇気ある行動にしっかりと応えるという粋な大人の行動が流石に真の大スターだなと感じます。最近、得をする事ばかりに目を奪われて行動しがちですが、元々私たち日本人は徳を積むことを大切にしてきました。須木中学校でも須木小学校と連携を深めながら、視野を広く、心優しく、社会(人)のために役立つ第一歩(行動)を踏み出せるように育んでいけたらと思います。是非、ご家庭でもこの話を話題にしながら須木中学校での生活について親子の会話をお願いします。

子育て10か条

この「子育て10か条」は、宮崎県PTA連絡協議会が策定したものです。基本的な事ですが、とても大切な10項目です。

是非、各家庭で率先して取り組んでいただきたいです。よろしくお願いいたします。

- 第1条 1日のスタートは、明るい笑顔の「おはよう」で。
- 第2条 「早寝・早起き・朝ごはん」で作ろう生活リズム
- 第3条 「ありがとう」「ごめんなさい」が出来る子に
- 第4条 褒める・叱る・見守るが、子育ての基本
- 第5条 聞くときは、子どもの目を見て、最後まで
- 第6条 家族ぐるみで読書に親しむ雰囲気づくり
- 第7条 触れ合おう家族でスポーツ外遊び
- 第8条 語り合おう家族で夢を未来を
- 第9条 ケータイはルール守って情報モラル
- 第10条 大人がきちんと実行、社会のルール

家庭の教育力！

入学式の式辞で、次のような事も話しました。人生を成功させるための秘訣として、『その人生を歩んでいく上で、コロナウイルスよりもっと恐ろしいウイルスがありま...』

確かな学力・豊かな心・健康な生活・たくましく生きる子どもを育てよう

須木中学校区の教育目標

入学式の式辞で、次のような事も話しました。人生を成功させるための秘訣として、『その人生を歩んでいく上で、コロナウイルスよりもっと恐ろしいウイルスがありま...』

入学式の式辞から

自分自身だけでなく、周りの人のやる気も奮っていきます。シラケに侵された人は、日常から感動がなくなり、表情も失い、まるで時間をつぶすために生きていくような人生になります。でも安心してくださいます。シラケにはとても有効なワクチンがあります。それは「面白がる」ことです。「面白がる」は無敵です。どんなピンチ



「確かな学力」とは、基本的な知識や技能十学ぶ意欲十課題解決能力十問題発見能力のことを表しています。「豊かな心」とは、自らを律しつつ他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心を表しています。「健康なからだ」とは、たくましく生きるための健康や体力(免疫力を含む)を表しています。「未来をたくましく生き抜く」とは、どのような状況や環境(社会の変化)の中でも、自分を信じ、須木地区に生まれ育った事に誇りをもってがむしゃらに前へ進んでいくこととする気概を表しています。社会は情報社会からスマート社会(ソサエティ5.0社会)に変化しています。

学校は、多様な事を楽しみながら体験、経験し、知らない事をたくさん学ぶ場所のひとつです。生徒たちが楽しく学ぶための手段のひとつとして、教員がまず、意識を変えることが重要です。昭和の時代を育った私たちが、令和を生きていく生徒たちを指導するわけですから、私たち教員も令和の時代に合った指導方法をしっかりと考えます。

こんな学校経営を推進いたします

少子高齢化の一方で、情報社会から進んだ社会(スマート社会)として、人工知能(AI)やIoTが至る所に出現するなど、仕事のあり方や働き方が大きく変化します。そんな社会の著しい変化にもワクワクしながら楽しんで生きていこうとする生徒が育つ場所にしたとと考えています。

学校は、多様な事を楽しみながら体験、経験し、知らない事をたくさん学ぶ場所のひとつです。生徒たちが楽しく学ぶための手段のひとつとして、教員がまず、意識を変えることが重要です。昭和の時代を育った私たちが、令和を生きていく生徒たちを指導するわけですから、私たち教員も令和の時代に合った指導方法をしっかりと考えます。

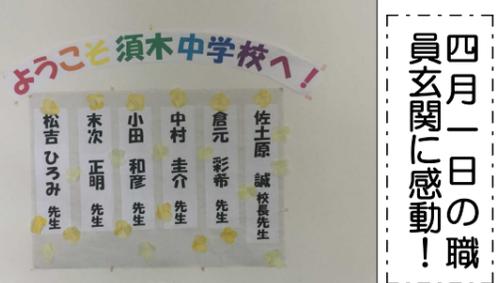
導方法をしっかりと研修しながら毎日真剣に勝負いたします。特に、キャリア教育を中心に、これからの社会に対応できる資質や能力を育む学校にしていきたいと考えています。

令和2年度職員紹介！

- 1 校長 佐土原 誠
- 2 教頭 竹之内千春(3年英語)
- 3 教諭 齋藤 浩子(1年担任、音楽・家庭)
- 4 教諭 橋本 律子(1年副担、国語)
- 5 教諭 吉村 政文(教務主任、数学)
- 6 教諭 中山由記子(2年担任、英語)
- 7 教諭 小田 昭彦(3年担任、技術・保健)
- 8 講師 小田 和彦(2年副担、社会)
- 9 養護助教諭 深海美岐子(3年副担)
- 10 主事 倉元 彩希
- 11 技師 末次 正明
- 12 非常勤講師 押領司 誠(美術)
- 13 非常勤講師 中村 圭介(理科)
- 14 図書館協力員 松吉ひろみ
- 15 ALT シャガール・シラジュル

※令和2年度は、この15人で力を合わせて頑張りますので、よろしくお願いいたします。

凡事徹底



四月一日の職員玄関に感動！

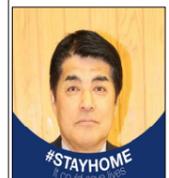
須木小学校の先生方と合同研究会を実施！

四月二十二日に、須木小学校の先生方と合同研究会を行いました。本年度の研究主題は、「目的意識をもち、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成」です。副題に、「表現力やコミュニケーションを育成する活動を通して」として行います。今年一年間、この研究会を

進めていきます。児童生徒に表現する力やコミュニケーションに付いて、最終的に基本的な知識や技能が育んでくれるための授業の研修です。授業の方法や形態を工夫したり、タブレットやパソコンを活用しながらの授業を展開し、児童生徒が楽しく主体的に学習できるように期待しています。児童生徒の成長を期待し

新型コロナウイルス感染拡大防止で臨時休業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、臨時休業となります。この臨時休業は、これ以上の感染を拡大させないためのものとして、国民の一人一人が感染しないように対策を講じることが重要です。これからのGWを迎えますが、不要不急の外出を控え、自宅で楽しく過ごすことを考えて行動をお願いいたします。



交通安全教室実施

四月十四日に、交通安全教室を実施しました。春の全国交通安全運動期間にあわせて、小林警察署・交通安全協会の協力で行いました。後半は、自転車点検の仕方や、乗り方のマナーについて学習しました。日常生活に活かして欲しいです。

